

はちまんづか

## 八幡塚古墳

八幡塚古墳は、5世紀後半に築造された大きな前方後円墳です。八幡塚古墳は発掘調査の結果にもとづいて、造られた当時の形に復元されました。往時の古墳とは、石と埴輪で飾られ、遠くからも白く浮き立つ構造物だったのです。

ぜんぼうこうえんふん



列になった円筒はにわ筒形のはにわが古墳を囲んで並びます。古墳を悪霊から守る垣根だと考えられます。



**中島**  
堀のなかに円い島が4つ造られています。ここは、古墳被葬者に対するマツリ(葬送儀礼)がおこなわれた場所のようです。



**人物・動物はにわを並べた区画**  
当時の様々な儀式の様子がはにわで表されています。宴会や狩猟の様子などの場面がみられます。



**王の眠るひつぎ—舟形石棺**  
ふながたせっかん  
頂上から内部へ降りると大きな石の棺があります。豪族が眠った巨大な棺です。  
石棺展示室(博物館の休館日は閉鎖)  
見学時間 9:30~16:30



**こわい顔のはにわ**  
古墳の一番外には、盾を構え、こわい顔をした兵士のはにわが並んでいます。古墳を悪霊から守るガードマンのはにわです。



## information



かみつけの里博物館  
The Kamitsukeno-sato Museum of Archaeology



八幡塚古墳データファイル：墳丘全長96m／墳丘推定高8m／墓域の全長約190m／埋葬施設①舟形石棺②竪穴式石槨／盛土の量14,500m<sup>3</sup>／円筒埴輪の数・推定6,000本／葺石の数・推定398,000個／出土品・碧玉製管玉・ガラス製勾玉・ガラス小玉・挂甲・鉄製農耕具類

## 上毛野はにわの里公園ガイド

当館の周囲は大きな公園となっています。古墳時代の群馬県地域が上毛野と呼ばれたことにちなんだネーミングです。博物館や文学館、二子山古墳、八幡塚古墳、はにわ工房など見どころいっぱいです。休憩棟や駐車場も整備されています。



### ■国指定史跡 保渡田古墳群

二子山古墳・八幡塚古墳・薬師塚古墳の3つの前方後円墳の総称です。榛名山東南麓を治めた有力な豪族たちの墓所です。昭和60年9月3日に国指定史跡となりました。

### ■薬師塚古墳

保渡田古墳群で最後につくられました。大きな石棺がみられます。

### ■八幡塚古墳の石棺展示室

見学時間 9:30~16:30  
(博物館の休館日は閉鎖します。)

### ■群馬県立土屋文明記念文学館

高崎市保渡田町出身の歌人・土屋文明に関する展示の他、文学系の企画展を行っています。



### ■休憩棟・はにわ工房・はにわ窯

ウディーな休憩棟で140人が休めます。勾玉づくりなどの体験スペースにも使われています。

### ■かみつけの里博物館

保渡田古墳群のつくられた頃の世界を、楽しみながら学習できます。実物のはにわや金のクツ、復元模型などがあります。企画展も行なっています。

## ほどた 保渡田古墳群とは

榛名山東南麓の井野川上流域にある、3基の前方後円墳の総称です。それらは、5世紀後半から6世紀初頭にかけて、二子山古墳→八幡塚古墳→薬師塚古墳の順で造られました。当時の東日本において、きわめて優勢であった豪族たちの墓所として、国指定史跡に指定されています。



### 埴輪列と埴輪の立て直し

埴輪の立て直しは、古墳の管理が一定期間つづけて行われていたことを、示しています。

### 中島

堀のなかに直径約18mの円い島が4つ造られています。ここは、古墳被葬者に対するマツリ(葬送儀礼)がおこなわれた場所のようです。



## ふたごやま 二子山古墳

本古墳群のなかで最初の、5世紀第3四半期ごろに築造されました。昭和5年、帝室博物館(現東京国立博物館)の後藤守一が初めて発掘し、内堤から埴輪片などを発見しています。平成15~17年には史跡整備の調査を行い、朝鮮半島製を含む多量の遺物破片が見つかりました。



### 王の眠るひつぎ—舟形石棺

後円部頂上の1m地中には、実物の石棺が保存されています。ここでは、実物大の石棺写真が見学できます。

### 三段に築かれた墳丘

土を厚く盛りあげた墳丘は、斜面に葺石が積まれ、斜面間の平坦面には円筒埴輪が列となって並べられました。復元整備では、コグマ笹を植えています。

二子山古墳データファイル: 墳丘全長108m/墳丘推定高9~10m/墓域の全長約213m/墓域30,000㎡/埋葬施設①舟形石棺②竪穴式石槨/出土品・金銅製馬具・金製裝飾具・大型円筒埴輪・在地産須恵器

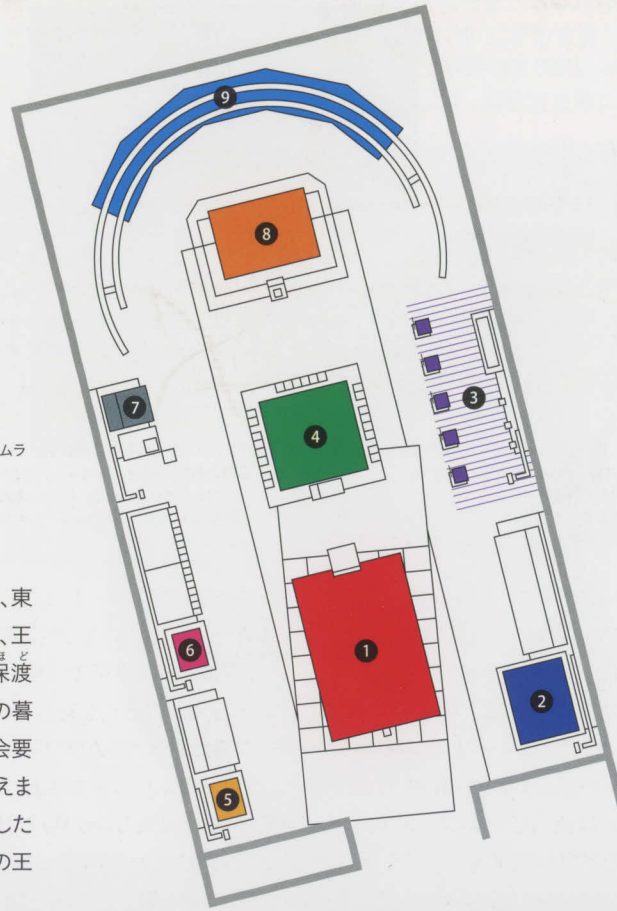
# The Kamitsukeno-sato Museum of Archaeology



■1

- ①よみがえる5世紀/榛名山東南麓古墳社会推定復元模型
- ②王の館/三ツ寺I遺跡推定復元模型
- ③王の姿を探る
- ④王の墓を探る/八幡塚古墳築造時推定復元模型
- ⑤広がる小区画水田/芦田貝戸III遺跡水田復元模型
- ⑥火山灰に埋もれたムラ/榛名山東南麓の古墳時代モデルムラ
- ⑦海の向こうからきた人たち/下芝谷ツ古墳
- ⑧埴輪に秘められた物語/保渡田VII遺跡出土形象埴輪群
- ⑨埴輪の人・動物・もの/埴輪ギャラリー

5世紀末と6世紀前半、2度にわたる榛名山の火山災害に襲われた榛名山東南麓には、東日本でも有数の勢力を誇った王の本拠地がありました。これまでの発掘調査によって、王が政治や祭祀を行なった巨大な館(三ツ寺I遺跡)、王族が眠る大型の前方後円墳(保渡田古墳群)、王の配下たちが葬られた小古墳群、王と民の経済を支えた水田や畑、人々の暮らしたムラ、技術を携えて朝鮮半島からやってきた渡来人のムラや墓など、当時の社会要素のほとんどが揃って発見されています。まさにこの地域は考古学上の重要地域といえます。常設展示室ではこの1500年前の世界を、考古学者たちの研究成果をもとに復元した模型や歴史の重みを秘めている出土品などで再現していきます。また、三ツ寺I遺跡の王が日本の中で、東アジアの中でどのようなポジションにあったのかを考えていきます。



常設展示室は以下の9コーナーで構成しています。

## ■1 よみがえる5世紀

このコーナーでは、5世紀の社会景観を復元した「榛名山東南麓古墳社会推定復元模型」(縮尺=1/500)を中心に解説映像とあわせて展示室全体のガイダンスを行います。

## ■2 王の館(三ツ寺I遺跡)を探る

三ツ寺I遺跡は、日本で初めて発見された豪族の館。このコーナーは、館の復元模型(縮尺=1/100)と、出土した遺物群で構成しています。壁面に描かれた発掘調査図のポイントから王の館の内部状況を探っていきます。

## ■3 王の姿を探る

全国の5世紀の前方後円墳分布図、5テーマにわたる各種解説シートから展示を構成しています。古墳の動向と文献から、三ツ寺の王や上毛野地域が日本の中で、また東アジアの中でどのような位置を占めていたのか探っていきます。

## ■4 王の墓を探る

「八幡塚古墳の築造時推定復元模型」(縮尺=1/80)を中心に据え、古墳造りに携わった人々、数字でみた古墳造り、工程からみた古墳造りなどの視点から模型の理解を深めるように構成しています。当時の巨大古墳造りがどのように行われ、どのような人々が働いていたのかを通して、この時代の組織や技術体系を探っていきます。

## ■5 広がる小区画水田

火山災害で5世紀の地表が良好に保存されていたため、当時の大規模な農地の状況や田作り作業の詳細な情報が遺跡に残されました。ここでは、発掘データから復元した古墳時代の水田模型(縮尺=1/80)を中心に初夏の農作業のようすや技術体系を再現しています。

## ■6 火山灰に埋もれたムラ

火山灰にバックされた下芝遺跡群、黒井峯遺跡、中筋遺跡などの発掘データをもとに、典型的なムラの姿を模型(榛名山東南麓の古墳時代モデルムラ 縮尺=1/80)で再現。これに、竪穴住居、ムラの大祭祀の場をイメージした出土物展示ステージを配置し、当時のムラの生活や祭祀、世帯の単位などを探っていきます。

## ■7 海の向こうからきた人たち

下芝谷ツ古墳から発見された日本最古の飾履(クツ)の展示を中心に、朝鮮半島の影響を受けた積石塚古墳分布や様々な渡来系文化を紹介しています。

## ■8 埴輪に秘められた物語

保渡田VII遺跡から出土した埴輪群像を中心に、埴輪の物語のストーリーを映像で解説。王の埴輪を中心とする儀式の群像、狩人の埴輪や猪の埴輪からなる狩猟群像などが、葬送や王位継承などの儀礼、当時の精神世界を表していることを紹介していきます。

## ■9 埴輪の人・動物・もの

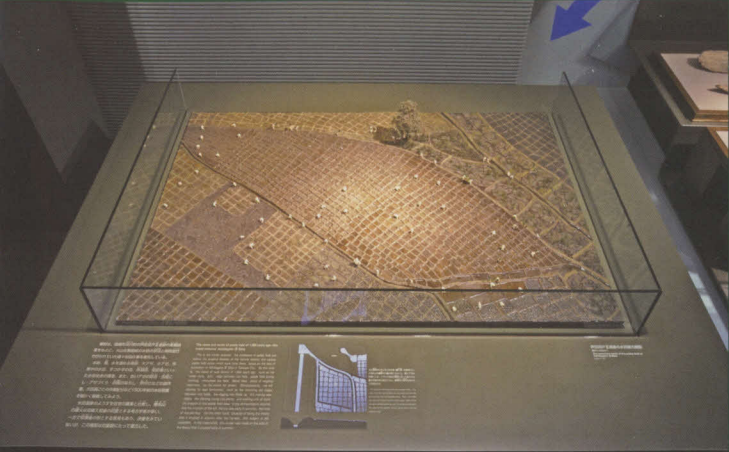
種別ごとに埴輪を展示し、あわせて国内各地の事例を紹介しながら、埴輪が示す古墳時代の人々の実像を紹介するギャラリーです。



■2



■4



■5



■6 ■7



■8 ■9

## 関連施設 | はにわ工房・はにわ窯・休憩棟

博物館の西に近接する施設です。はにわ工房では、予約制の体験学習や復元した八幡塚古墳に並べる埴輪を製作し、はにわ窯で焼成します。休憩棟は、約140人収容でき団体利用できます。



休憩棟



はにわ窯

## 体験学習 勾玉づくり

身近に古代装飾を体験する学習として館内で実施しています。材料は滑石を使ってつくります。

開催日：土曜日・日曜日・祝日 受付時間 9:30～15:00

場所：かみつけの里博物館ホール

費用：有料

予約不要

## かみつけの里古墳祭り

「かみつけの里古墳祭り」では、今から1500年前の榛名東南麓に館を構えた王が行っていた「マツリ」を最近の研究成果を踏まえて製作した、オリジナル脚本による再現劇「王の儀式」を王の儀式再現の会により上演いたします。また、当時の文化に親しんでいただくためにさまざまな体験イベントも行っています。コスモス祭りも同時開催しております。



## ご利用のご案内

開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)

休館日 毎週火曜日(祝日の場合 翌日)  
国民の休日の翌日/年末年始(12月28日～1月4日)

観覧料  
一般…………… 200円(160円)  
高校生・大学生等……………100円(80円)  
65歳以上・中学生以下……無料  
※( )内は20名以上の団体料金です。  
※企画展・特別展は別料金となります。

### お客様へのお願い

当博物館では、模型や展示物等のガラスケースをできるだけ取り払い、皆様により良い学習の環境を提供できるよう、あえてオープン展示にしています。この展示の方針にご賛同いただき、展示物にはお手をふれず、ご観覧くださいますようお願いいたします。

### 交通のご案内

- 東京駅から上越新幹線JR高崎駅まで約60分
- JR高崎駅からタクシーで約20分
- JR高崎駅からバスで約30分(群馬バスしんとう温泉・榛東村役場行・秋葉前下車)
- JR前橋駅からバスで約30分  
(関越交通バス土屋文明文学館行・かみつけの里博物館前下車)
- 関越自動車道 前橋ICから車で約15分



**かみつけの里博物館**  
The Kamitsukeno-sato Museum of Archaeology

〒370-3534 群馬県高崎市井出町 1514  
TEL: 027-373-8880(代表)  
1514 ide-machi Takasaki-city Gunma 370-3534 JAPAN  
e-mail:kamitsuke-museum@city.takasaki.gunma.jp

かみつけの里博物館

検索

掲載内容は、平成29年4月1日現在の情報です。